

# 文部科学大臣杯 第70回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会 大会要項

Ver. 2014. 03. 09

主催	日本学生自転車競技連盟			
共催	公益財団法人日本自転車競技連盟			
運営協力	静岡県自転車競技連盟			
後援	文部科学省	一般財団法人日本サイクルスポーツセンター		サイクルメッカ伊豆推進協議会
	伊豆魅力(三力)プロジェクト			
協賛	公益財団法人JKA	株式会社パールイズミ		ブリヂストンサイクル株式会社
	セイコータイムシステム株式会社	社団法人全国競輪施行者協議会		一般社団法人日本競輪選手会
協力	株式会社日直商会	株式会社シマノ		
期日	トラック: 2014年 8月 28日(木)	10時00分	ライセンスコントロール・ゼッケン配布(10:45終了)	
		11時00分	トラック監督会議	
		12時00分	開会式	
		13時00分	競技開始	
	8月 29日(金)	8時00分	競技開始	
	8月 30日(土)	8時00分	競技開始	
			ロード監督会議(トラック競技終了後)	
	ロード: 8月 31日(日)	8時00分	男子競技開始(28周=140km)	
		8時01分	女子競技開始(12周=60km)	
		14時00分	表彰式・閉会式	

## 会場 静岡県伊豆市大野 日本サイクルスポーツセンター

トラック: 伊豆ペドローム(屋内250m) / ロード: 5kmサーキット(左まわり・秀峰亭スタート・ゴール)

大会主旨 本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)の学校対抗形式による種目別の優勝者を決め、もって選手権を決定する大会である。

- 競技種目
- 男子の部: スプリント、1kmTT、ポイントレース、ケイリン、4kmIP、タンデムスプリント、4kmTP、チームスプリント、個人ロードレース 140km(5km×28周)
  - 女子の部: スプリント、500mTT、ポイントレース、3kmIP、チームスプリント、個人ロードレース 60km(5km×12周)

## 参加資格

(男女共通)

- 当該年度に有効な、公益財団法人日本自転車競技連盟(以下「JCF」という)登録競技者のうち、本連盟登録選手。

(男子トラックレース)

- 当該年度版学連大会参加基準を満たしている者。
- 1人2種目迄、但し4kmTP、チームスプリントはこの数に含まない。1校あたり補欠含め12名迄とする。
- 各校エントリー可能人数は次の通り。  
スプリント=2名迄、1kmTT=2名迄、4kmIP=1名、ポイントレース=1名、ケイリン=1名、タンデムスプリント=1組、4kmチームパーシュート=1チーム(6名/出走4名)、チームスプリント=1チーム(5名/出走3名)
- 補欠選手登録は、各校トラック個人種目各1名、タンデムスプリント2名迄とする。
- 4kmTP、チームスプリントについてはラウンド毎の選手変更を可とし、当該競技番組開始1時間前迄に出走者変更の有無に係わらず、出走者リストを提出のこと。

(女子トラックレース)

- 1種目各校2名迄、1人2種目迄、但しチームスプリント、ポイントレースはこの数に含まず。ポイントレースは各校6名迄。
- チームスプリントへのエントリーは、各校1チーム(3名/出走2名)とする。
- 補欠選手登録は、各校トラック個人種目1名迄。
- チームスプリントについてはラウンド毎の選手変更を可とし、当該競技番組開始1時間前迄に出走者変更の有無に係わらず、出走者リストを提出のこと。

(ロードレース)

- 男子は当該年度ロード・カテゴリ・クラス1若しくは2に属する者。1校8名迄、補欠選手登録2名迄。最大計200名。
- 女子は1校6名迄、補欠選手登録2名迄。

## 参加申込

- 参加を希望する選手は、所定の様式にて本連盟事務局まで申し込むこと。電子メールの到着を以て参加申込の正式受領とするが、同一内容を郵送もしくはファクシミリにて期限内に送付する事。申込書式はJICFウェブサイトより入手できる
- 参加料は正選手・補欠選手にかかわらず、1名4,000円。個人ロード参加選手は別途4,000円とする。
- 申込期限および参加料納入期限は、トラック、ロードともに7月29日(火)必着とする。
- 参加料の送金は、銀行口座振込とする。送金名義人について、振込元に大会コード名0828と、XX大学等、必ず学校名を記入すること。  
振込先 長野県労働金庫(ろうきん) 諏訪湖支店 普通 9687387 口座名義 日本学生自転車競技連盟
- 如何なる理由があろうとも、参加料の返金は行わない。正当な理由なき欠場者には、参加料と同額のペナルティーを課す。

## 出場者受付

- ライセンスコントロール・ゼッケン配布は8月28日(木)トラック競技場にて10時00分から10時45分まで行うので、参加選手のライセンスと登録ユニフォームを持参すること。但しロードレースのみ参加の選手についてはトラック最終日にトラック会場にて11時から13時の間、受け付ける。
- 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。
- 4kmTP、チームスプリントを除き、予選に参加した選手以外の選手が予選以降の競技に出走することは認められない。

## 対抗得点

1. 男子については、以下の各種目の最終順位に従い、つぎの対抗得点を与える。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11~15	16~20
トラック種目	9	7	6	5	4	3	2	1				
ロード	14	12	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

ただし、男子ロードレースについては各校ごとに上位3名迄のみが得点の対象となる。空位得点の繰り上げは行わない。

2. 女子については、以下の各種目の最終順位に従い、つぎの対抗得点を与える。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
トラック種目	7	5	4	3	2	1				
ロード	10	8	6	5	4	3	2	1	1	1

ただし、女子ロードレースおよびポイントレースについては各校ごとに上位2名迄のみが得点の対象となる。空位得点の繰り上げは行わない。

3. 総合順位は、男女別ロード部門とトラック部門の対抗得点の合計の多寡をもって決定する。同得点の場合には、トラック競技・ロード競技の各種目上位8名までを対象として、上位者が多い学校を上位とする。

## 賞典・式典

1. 開会式は、8月28日（木）12時00分より、競技場内にて行う。
2. 総合成績・種目別成績について、順位に従って下記の範囲を入賞者とし、つぎの賞品・賞状を授与する。
  - 1) 総合成績（男子） 優勝：文部科学大臣杯・優勝旗・賞状、2・3位：賞杯・賞状、4~8位：賞状  
（女子） 優勝：優勝杯・賞状、2・3位：賞杯・賞状、4~6位：賞状
  - 2) 男子トラック 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4~8位：賞状  
トラック部門総合成績：1~8位：賞状
  - 3) 男子ロード 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4~10位：賞状  
ロード部門総合成績：1~8位：賞状
  - 4) 女子（全種目） 優勝：チャンピオンジャージ・メダル・賞状、2・3位：メダル・賞状、4~6位：賞状
3. トラック種目の表彰式は、第3位以上が出席して、時程表に基づき、競技場内にて行う。
4. ロード種目・総合成績の表彰式は、閉会式の中で行う。
5. 閉会式は、8月31日（日）競技終了後、準備が整い次第行う。会場は別途告知する。

## 事故措置

1. 競技中発生した事故等について、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応のこと。
2. 各選手は、各々の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。

競技規則 JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

事務局 日本学生自転車競技連盟 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館4階  
E-mail:jicf@remus.dti.ne.jp FAX: 03-3481-2369 URL: <http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/>

## 大会特別規則

第1条（スプリント） 男子は予選タイム上位16名が1/8決勝に、女子は上位8名が1/4決勝に進出する。

第2条（4kmIP、3kmIP） 予選の結果により、第5~8位を決定する。予選の上位2名により決勝戦を、予選タイム3、4位により3~4位決定戦を行う。

第3条（ポイントレース） 決勝のみの競技とし、男子は40km、女子は16kmで行う。

第4条（タンデムスプリント） 別途定める「日本学生自転車競技連盟タンデム器材運用基準」に適合している器材のみが使用できる。予選の結果タイム上位8チームが1/4決勝へ進出する。

第5条（4kmTP）

1. 予選においては、追抜きがあった場合でも両チーム完走しタイムを計時する。
2. 予選の結果により、第5~8位を決定する。
3. 予選結果の上位2チームにより決勝戦を、予選結果の上位3、4位により3~4位決定戦を行う。

第6条（ギア比制限） トラック・ロード共にジュニア選手のギア比の制限は行わない。

第7条（個人ロードレース）

1. 選手受付 選手は、競技開始15分前までにスタート・チェックシートに出走サインを自署する。
2. スタート位置 出走選手のうち、昨年度の本大会本種目における上位10名までの選手に最前列でのスタートを認める。
3. 器材補給
  - 1) 男子・女子共に主催者にて共通器材車を用意する。
  - 2) 各校にて用意した代車・代輪の交換を認める。
  - 3) 事故やパンク等の場合に選手間での自転車、車輪を交換することは、同校の選手間に限って認める。
4. 食料補給 飲食料の補給を行うための「補給エリア」を設置する。範囲並びに開始及び終了周回は別途指示する。
5. 失格の取扱い
  - 1) 原則として、先頭より一定時間遅れた選手は失格とし、またコミッセルが完走不可能と判断した選手も、失格とみなし競技より除外する。打ち切り時間は別途定める。
  - 2) 前項の規定以外にも突発事故の発生等により競技中の選手を除外する事がある。その場合はコミッセルの指示に従う事。
  - 3) 競技を中止した選手は、速やかにゼッケンを外しチーム毎に責任を持って、ゼッケンとプレートを学校単位にて、競技終了後に大会本部まで返却すること。
6. 正式スタートまでのパレード区間の距離は、大会コミュニケーションで発表する。

第8条（監督会議） ロードの監督会議は、トラック競技最終日にトラック会場にて競技終了後、準備が整い次第行う。

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、[JICFウェブサイト](http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/)を随時チェックすること。